



沖縄 修学旅行の延期

P T A総会でもお伝えしましたが、5月9日(水)～11日(金)に計画をしていた高等部の沖縄への修学旅行を延期しました。



沖縄県での麻疹(はしか)流行のニュースが、全国的に流れ始めたのは、4月16日頃からです。名護市の中学校の学級閉鎖のニュースだったと思います。

そこで、17日(木)18日(金)に、高等部主事より県教育委員会に相談をかけ、23日(月)には、学校医の先生とも相談をしました。また、高等部の3年生のご家庭

には、ワクチン接種の有無についてお尋ねをしました。

そういった流れの中で、当初は、慎重を期しながら、実施の方向で進めようと考えていました。延期した場合のデメリットがいろいろ考えられたからです。

- ・キャンセル料…2週間前ですので、航空機、ホテル等に多額のキャンセル料が発生する。
- ・生徒の学習…子どもたちが5月実施を目指して学習を積み重ね、気持ちを盛り上げてきたことが無駄になる。
- ・ご家庭の準備…旅行のために衣服や持ち物等を、準備されていただろう。
- ・延期先…次にいつ実施できるのかという日程が不確定である。

けれども、この麻疹への対応の一番のポイントはどこだろう、と原点に戻って考えてみました。それは、

<子どもたちの健康を守る、命を守るということ>

本校の学校目標は、次のように始まります。「子どもたちの命を守り、願いや夢を実現する教育を……」

- ・もし、修学旅行に参加した生徒が感染し、重篤な状態に陥ったら……
 - ・もし、戻ってきてから誰かが発症し、免疫力の弱い生徒にうつったら命に関わる重大な……
- 特別支援学校は、そういった健康、命に関わることには敏感でなければなりません。

<全校生徒の健康と命を守る>この原点に戻ったとき、結論は明らかでした。

現在、高等部3年生では、計画を立て直し、新たな準備にかかっています。思い出に残るすばらしい修学旅行にするために、またしっかりと考えていきます。

